

元・在日韓国人「政治犯」の名譽回復求めた再審裁判	韓国良心囚を支援する 会全国会議事務局長	石井 寛	2
労働者詩人・濱口國雄「地獄の話」によせて	詩と詩論 笛 同人	井崎外 枝子	4
「北東アジア共同の家」を阻む靖国神社	弁護士・ヤスクニキヤンドル 行動実行委員会事務局長	内田 雅敏	6
再び出会う、ストロンチウム90、そして新たな平和運動の可能性	翻訳家・ 映像作家	イナン・オネル	8
子どもへの被曝の問題と教育労働者の苦悩	福島県教組書記長 国労稚内闘争団	角田 政志	10
社会保険庁の大量解雇は全労働者の問題	社保庁職員不当解雇撤回 全厚生闘争団事務局長	鈴木 孝勝	12
大阪維新の会のファッショ攻撃と闘おう！	大阪教育合同労組	南 川 幸潤	14

労働者通信

平和のうちに生存する権利を

原発・沖繩と改憲阻止

ジャーナリスト
「5・18集会」呼びかけ人

山口正紀 18

「戦後」の撲殺と「3・11後」の強制

震災を利用した新自由主義国家改造・壊憲攻撃

労働運動研究
HOWS講師

新田 進 28

世界恐慌と大衆ストライキ

資本主義の枠内では解決不能な過剰生産恐慌

世界経済分析

小野利明 36

フクシマ、最後の警告

問われる民主主義の内実と想像力

原発問題研究

大高雅博 48

詩の廃止中

斉藤光太郎 55

原発をなくせ

笑い 茸 58

日米安保はいらない 日本国憲法を！

弁護士・第三次憲手納基地
爆音差止訴訟弁護団長

池宮城紀夫 114

この人に聞く

＜インタビュー＞ ●ギリシャで48時間のゼネスト 6月28日、第1日目
 ●6月29日、第2日目 PAMEの活動が成功 ●ヨーロッパ共産党会議での冒頭挨拶
 アレカ・パバリガ ●ヨーロッパ共産党会議の共同声明 ●朝鮮半島に関する決議 ●組織
 再編に努めるベネズエラ統一社会主義党 ●二〇一一年共産党・労働者党国際会議の準備進む 97

社会主義キューバの闘いの現実を直視しよう

キューバ人民は苦境を乗り越え前進する

本誌編集部 62

政治関係者、ならびに社会運動家の友人たちへ

キューバ共産党第六回大会にたいする報告

キューバ共産党
中央委員会 66

社会主義と祖国の独立を維持・発展させる

キューバ共産党第六回大会にたいする報告

ラウル・カストロ
第二書記 68

世界の共産党員、政治勢力、社会運動家、
ならびにキューバ革命の友人たちへ

キューバ共産党
中央委員会 88

フィデルの考察

深刻な食糧危機

キューバ
前国家評議会議長

フィデル・カストロ 92

＜状況2011夏＞

教育 ― 日の丸・君が代最高裁判決の問題点 「日の丸・君が代」強制反対予
防訴訟をすすめる会共同代表 永井 栄 俊 129

美術 ― 文化遅延国家内美術 ― 3・11以後、の動きを見る 美術評論家 日夏 露彦 136

運動のなかから生まれた論争の書

芸術運動は絶え間なく「真理」を目指す

竹内「魯迅」の根本的破壊を可能にしたもの

批評家
「重力」編集会議

鎌田 哲哉 146

国防文学論争における魯迅の統一戦線論

世界に例のない運動論

文芸評論家

湯地 朝雄 161

直言の力をわれらがものに

浅川史「魯迅文学を読む」竹内好「魯迅の批判的検証」をめぐって

「二松学舎」
大学教授

山口直孝 170

特集Ⅱ 『魯迅文学を読む』

＜読書ノート＞	河津聖恵詩集『ハッキョへの坂』	文芸評論家	下 幸 洙	174
高嶋伸欣／関口竜 鈴木 晶	著 『旅行ガイドにないアジアを歩く――マレーシア』	大学生	黒川 りお	176
BOOK WATCH	「JRR採用差別と闘い24年――原告団のあゆみ」（鉄建公団訴訟・鉄道運輸機 構訴訟原告団中央協議会）／「けし風（第71号）」（新沖繩フォーラム刊行会 議編）／「人権と生活 VOL.32」（在日朝鮮人人権協会編）	名譽教授 琉球大学	高嶋 伸欣	180
＜文庫発掘＞	『時代閉塞の現状』石川啄木著	立野正裕 143	『かくも長き不在』アンリ・コルビ監督 遠藤裕二 91	
＜映画再見＞				

原発事故の対応で明確になった日本社会の健全な
家族会強硬派に理性的対応をあくまで求める

名譽教授
琉球大学

高嶋 伸欣 180

＜連載＞

＜北の百姓記 67＞	斎藤たきち 61	＜国労闘争団からの便り 57＞	田中 博 47
＜沖繩めけし風 52＞	まよなかしんや 113	＜波来土の漫画館＞	波来土 27
		＜イラスト通信＞	広浜綾子 11

＜台 発 言＞	いわるる尖閣諸島問題をめぐって――その平和的解 決をめざして アジア近現代史研究 神奈川県・定時制 高校教員	佐々木 辰夫 188
	記録映画「月あかりの下で」ある定時制 高校の記録（太田直子監督）を讀む	藤 原 晃 191

＜読者のたより＞	本誌前号特集「武井昭夫の仕事をいかに受け継ぐか」を読んで	友田 幸枝 193
＜相互批判を通して労働者の文学は生まれる やさしい字＞		木村 文洋 194

＜表紙の絵について＞	画家 吉川雅基 7	＜読者会から＞	東京西部／京都 198
＜デザイナーの独り言＞	追川恵子 200	編集後記	200

